

倉敷ロータリークラブ(RC)は20日、S



# 物大切に心持って

## 倉敷RC、かわさきこども園に 紙芝居やクレヨン贈る



かわさきこども園に紙芝居などを贈る浅野会長(右)

SDGs(持続可能な開発目標)をテーマにした紙芝居や、廃棄されたクレヨンを認定こども園「かわさきこ

ども園」(倉敷市二子)に贈った。

紙芝居は、いつも電気を付けっぱなしにする主人公の少年が、妖精から電気の大量使用が地球温暖化につながることを教えてもらい、行動を改めるとのストーリー。子どもへのSDGsの普及を目指すRCの依頼を受け、川崎医療福祉大(同市松島)子ども医療福祉学科の3年生が製作した。クレヨンは、ネギやニンジンといった野菜のくずや米油から作られており、100セットを用意し

た。

浅野泰司会長が同園で園児代表らに手渡し、「物を大切にすることを考えながら楽しんで」とあいさつ。園児たちは早速、紙芝居の読み聞かせや絵描き歌を楽しみ、梶浦絵梨奈ちゃん(5)は「電気をいすぎず地球を守るようにしたい。お父さんやお母さんの顔を描いて見せてあげたい」と話していた。

同RCは今後、市内の認定こども園や保育園など70園・施設に紙芝居を贈る予定。

(信定佑紀)